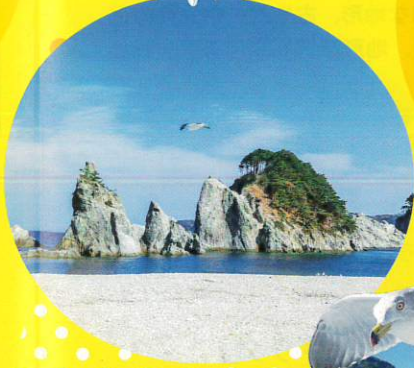


プチャ 知る知る 宮古

MIYAKO



発行：一般社団法人 宮古観光文化交流協会

TEL 0193-62-3534

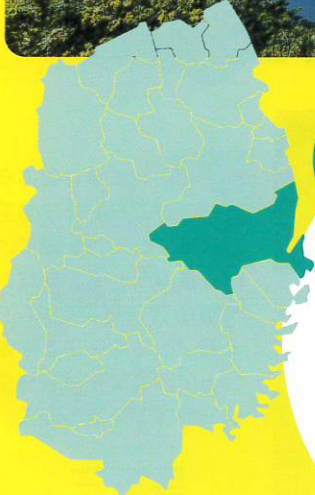
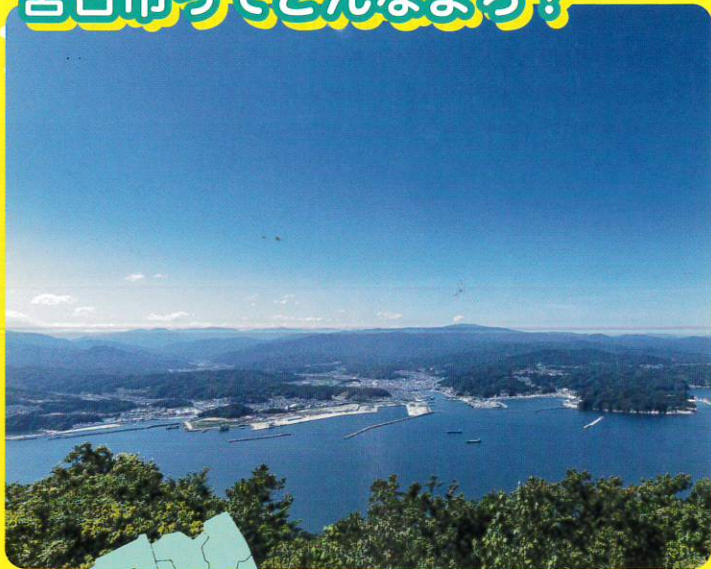
<https://kankou385.jp/>

宮古の観光情報はこちら ▶▶▶



一般社団法人 宮古観光文化交流協会

宮古市ってどんなまち？



面積

宮古市の面積は1,260km²で、**県内で一番広い面積**です。岩手県の総面積の約8.2%を占めています。また、宮古市は森林面積が広く、全体の約91.8%を占めています。

人口

46,156 人

(令和6年6月1日現在)

宮古の「花・木・鳥・魚」

はまぎく



あかまつ



うみねこ



さけ



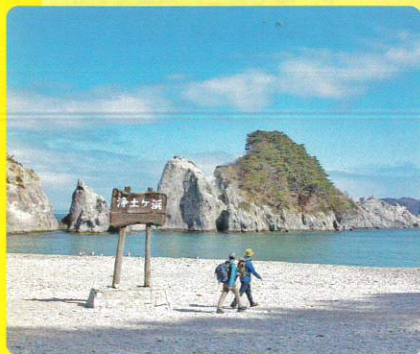
花 木
鳥 魚

(平成18年1月15日 制定)

観光
Pick up!

Trail town MIYAKO

みちのく潮風トレイル



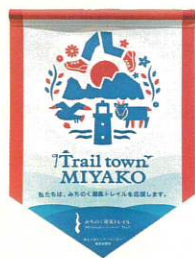
青森県八戸市から福島県相馬市までを結ぶ総延長1,025kmの日本最大級のロングトレイルです。

沿岸ならではの風景、食を楽しみながら、自分のペースで周辺地域を堪能できます。



これが目印!!

トレイルオアシス



「みちのく潮風トレイル」利用者を歓迎する取り組みとして発信している「Trail Town MIYAKO (トレイルタウンみやこ)」。

市内を訪れるハイカーへの、給水や充電、休憩場所の提供、情報提供等の支援を行う「トレイルオアシス」には目印となるタペストリーを設置しています。



宮古うみねこ丸

国指定名勝「浄土ヶ浜」をはじめ、三陸ジオパークのサイトをガイドと巡る、宮古市の新しい遊覧船です。2022年7月に宮古市の新しい遊覧船として運航を開始しました。

浄土ヶ浜周辺をガイドの解説を聞きながら巡ることができます。コンパクトな船体で、水面や岩肌を間近に感じることができます。

うみねこたちと
ふれあおう!!



うみねこパン

うみねこ丸の船内で販売されているパン。うみねこに餌付けをしながら遊覧を楽しむことができます。

生地には海藻も使用されており、ほんのり塩気があって人が食べても美味しく作られています。

方言

宮古弁の特徴は?

宮古弁は、「北上山地」によって隔てられた内陸部からの方言の影響が少なく、海からの交易によって別の地域の言葉が入ってくる環境であったことから、独自に発展していきました。あいさつや日常会話、物の名前、状態を表す言葉などその種類はさまざまです。

いくつわかるかな??

ミニ宮古弁辞典

アウェーコ

間。奥まった小道。

アベエ

行こう。

アメル

異常発酵する。
(食べ物によく使う)

イズダリカズダリ

時なしに。いつでも。

エンズウ

具合が悪い。窮屈。
しっくりこない。

オショースー

恥ずかしい。

オデンヤ

来てください。

カデル

仲間にする。

ケドガン

～をください。

ゴンボーホリ

泣き虫。

スパレル

冷え込む。冷える。

タツット

ほんの一滴。

チョペット

少し。

ツラツケー

いやな顔をする。

デズラビッコ

履物の左右が反対。

デンビ

(身体の) 額。

トツコ

もつれて絡まる。

ナーステ

どうして。

ネマル

座る。

ハグラ

日射病。

パヤパヤ

まばら。

ビッピーラー

平ら。

メンケエ

可愛い。

ユルグネー

苦しい。困難だ。

宮古のグルメ

親潮と黒潮がぶつかり合う三陸沖は、魚介類の宝庫です。
四季によって旬の味覚がある四季折々の食材の味を楽しめる宮古は、その食材を活かした料理を出す飲食店も多くあります。



瓶ドン

宮古で売られている牛乳瓶入りの生ウニから着想を得た、ご当地海鮮丼。海の幸がぎっしり詰まった瓶の中身を熱々のご飯にかけて召し上がれ。



サンマ

冷たい親潮にのり、脂肪をたっぷり蓄え三陸を回遊するサンマ。刺身や焼き魚などシンプルな食べ方がおすすめ。



サケ

本州屈指の水揚げ量を誇る宮古のサケ。焼き魚や鍋料理、風味豊かなイクラが入った「ハラコそば」など郷土料理もお楽しみください。



毛ガニ

宮古に冬の訪れを告げる味覚、毛ガニ。旨みが詰まった身肉が味わえるカニ汁や、ゆでガニ、濃厚で甘いカニみそもおすすめ。

マダラ

岩手の水揚げ量のうち、8割を宮古が占める真ダラ。寿司や刺身のほか、鍋物、タラフライなど食べ方は多彩。冬季に旬を迎えます。



花見かき

4～5月にかけて出荷される宮古のブランド牡蠣。15cmほどにもなる大ぶりの牡蠣には濃厚な旨みがぎっしり詰まっています。



宮古トラウトサーモン

秋サケにかわり春～初夏に出荷される、海面養殖されたトラウトサーモン。脂乗りも身色も良く、刺身にすると良質な脂が口の中であとけします。

三陸ジオパークって？



三陸地域は約5億年前からの地層が連続的に観測できることや、リアス海岸と呼ばれる特徴的な地形、古生代・中生代の化石など世界的にも価値のある地質、地形資源や文化に恵まれた地域です。

この地球活動の遺産と、地域の観光や教育・文化活動等の活性化につながる取り組みが評価され、平成25年9月に青森県八戸市～宮城県気仙沼市が「三陸ジオパーク」として日本ジオパーク委員会の認定を受けました。

市内に17箇所のサイト（見どころ）があります。

ジオパークの特徴がよく分かる

市内のサイト

1. 田老の防潮堤
2. 津波遺構 たろう観光ホテル
3. 津波到達点
4. 三王岩
5. 津波記念碑
6. 震災メモリアルパーク中の浜
7. 潮吹穴
8. 日出島
9. 崎山貝塚
10. ローソク岩
11. 黒森神社
12. 浄土ヶ浜
13. 鮎ヶ崎
14. 十二神山
15. 腹帯の混在岩
16. 早池峰山
17. 薬師川渓流の古生界

宮古市HP

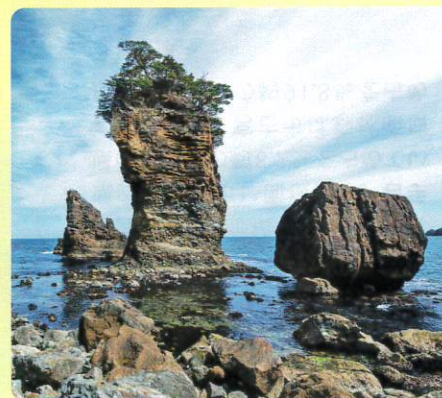
三陸ジオパークHP



各サイトの場所はこちらのマップで確認できます

三王岩

三陸復興国立公園にある数多い奇岩景観の中にあって最も圧巻で、高さ37mの通称男岩の両側に女岩、太鼓岩が寄り添い、真下に立つとまさに圧倒されんばかりの壮観さがあります。



津波遺構 たろう観光ホテル



2011年3月の東日本大震災で被害を受けた建物の取り壊しが進む中、甚大な被害の記憶を風化させることなく、後世に伝えるため、「津波遺構」として保存し防災教育に活用しています。「学ぶ防災ガイド」では、ホテル6階から津波の様子などの上映が行われています。

pick up! おすすめサイト



浄土ヶ浜

宮古の景観を代表する浄土ヶ浜は、昭和29年(1954)4月に県の名勝に指定、翌30年(1955)5月には国立公園に指定され脚光を浴びるようになりました。

また、平成24年(2012)1月には国の名勝に指定されました。浄土ヶ浜の地名は、天和年間(1681～1683)に宮古山常安寺七世の霊鏡庵主(1727年没)が、「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆したことから名付けられました。

ローソク岩



浄土ヶ浜の北、大沢海岸に突き出た巨大な岩です。昭和14年(1939年)9月に国の天然記念物に指定され、平成25年9月24日に三陸ジオパークに認定されました。

潮吹穴

浄土ヶ浜の北、日出島地区と休暇村陸中宮古の間の海岸にあります。この穴は地上から海中までつながっています。大きな波が打ち寄せると、波の圧力に押されて海水が地上に吹き出します。



鮎ヶ崎

本州で最も東に位置しているのが重茂半島にある鮎ヶ崎です。この場所にある「鮎ヶ崎灯台」は明治35年(1902)3月に建てられました。太平洋戦争の終戦まぎわに被災し、昭和25年(1950)6月に再建されたもので、高さが33.72mあります。

本州最東端訪問証明書
発売中です!!



宮古市遊覧船「宮古うみねこ丸」(出題範囲★☆☆)

宮古市遊覧船「宮古うみねこ丸」は、国指定名勝「浄土ヶ浜」の美しい景観をはじめ、三陸ジオパーク・ジオサイトをガイドと巡る、令和4年7月に就航した宮古市の新しい遊覧船です。デッキではウミネコの餌付け体験ができます(有料200円)

これまで、浄土ヶ浜には、みやこ浄土ヶ浜遊覧船が運航しておりましたが、令和3年1月11日に58年の歴史に幕を下ろしました。

運航終了後は、多くの市民や観光関係者から、終了を惜しむ声と、「浄土ヶ浜観光の象徴として、遊覧船は必要である」との多くの声が届けられたことから、新しい遊覧船を宮古市で建造することが決定しました。

その後、株式会社ティエフシー(山田町)に遊覧船建造工事を発注し、令和3年8月12日「起工式」、令和4年5月2日「命名・進水式」を経て、令和4年5月末に完成しました。船体は双胴船で、横波に強く、広い展望デッキからリアス海岸の雄大な景観を堪能できる設計です。また、どなたでも安心して乗下船できるバリアフリー設計で、昇降型出入口(乗下船装置)も付いています。

■運行時刻

便 名	出崎埠頭発	浄土ヶ浜着	浄土ヶ浜発	出崎埠頭着
1	9:00	9:10	9:30	10:00
2	10:10	10:20	10:30	11:00
3	11:10	11:20	11:30	12:00
4	13:10	13:20	13:30	14:00
5	14:10	14:20	14:30	15:00
6	15:10	15:20	15:30	16:00
7	16:10	16:20	16:30	17:00

※天候や海の状況により運休の場合あり。 ※7月17日～8月31日まで毎日運行。

※9月以降は火曜日運休・11月～1月9日は6・7便運休

冬季間は特別ダイヤ(整備運休有)

■運賃

・湾内遊覧 大人1,500円、小人750円

① 出崎埠頭→浄土ヶ浜→出崎埠頭

② 浄土ヶ浜→出崎埠頭→浄土ヶ浜

※浄土ヶ浜もしくは出崎埠頭で一度下船した上での乗船も可(当日限り有効)

・水上交通 大人500円、小人250円

出崎埠頭→浄土ヶ浜

※水上交通利用者限定

浄土ヶ浜→出崎埠頭 大人1,000円、小人500円

■チケット売り場

① 出崎埠頭発着所→シートピアなあと内

② 浄土ヶ浜発着所→浄土ヶ浜栈橋



ブランドカラーに「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を使った宮古うみねこ丸。